産業建設委員会

問 小規模水稲農家等への営農機械導入助成について、対象農家数と事業実施による効果、農家のニーズをどのように捉えているか。また、水田の多面的機能を維持するため、さらなる支援の検討は。



答 2025年農林業センサスによる水稲農家は634経営体であり、経営面積の大小にかかわらず営農継続を希望する農家が対象となる。事業効果を数値で示すことは難しいが、補助金がなければ水稲栽培をやめていたという利用者の声もあり、今回15経営体への助成を通じて、水稲農家の営農継続に一定の支援効果があったと捉えている。

問 市道路面舗装等の性状調査の結果、新たに修繕が必要と判断された箇所はどの程度あり、今後の修繕計画や財政負担の見通しに影響はあるのか。

答 市道276路線、約360km の路面性状調査を実施した結果、速やかに修繕が必要な箇所が約30%、早期に修繕を開始すべき箇所が約20%であった。今年度は道路付属物等の調査も行い、その結果を踏まえて、従来の事後保全型から計画的な予防保全型の管理へ移行し、修繕費用の平準化とコスト縮減を図りながら、道路の管理水準の向上を目指していく。

9月定例会

一般質問

QUESTION AND ANSWER

9月定例会では14人の議員が市政に対する一般質問を行いました。
各議員による複数の質問の中から一部を選んで掲載しています。
一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質すものです。
質問のみで1人40分。質問回数は制限なしとしています。
※反問に要した質問及び答弁の時間は持ち時間に含めない。

質問と答弁がかみ合うことで分かりやすく充実した議論となるよう、原則としてあらかじめ通告しておくこととなっています。

P16右下の二次元コードから高山市議会YouTubeにて各議員の一般質問をご覧いただけます（タブレット・スマートフォンに対応。通信料は別途発生します）。